



勇者の愛が

円井 ぴん
Presented by
Pin Maru i

舞 ず ぎ る



円井ぴん

Pin Marui

初めてのことばかりで
てんやわんやしながらも
楽しんで描かせていただきました!

光×闇、白×黒、美男×男前は最高!!

勇者の愛が
重すぎる

Presented by
Pin Marui

円井びん

YUSHANO
AIGA
OMOSUGIRU

C O N T E N T S

1 話 ————— (003)

2 話 ————— (029)

3 話 ————— (055)

4 話 ————— (091)

5 話 ————— (117)

6 話 ————— (149)

後日談 ————— (195)

あとがき ————— (207)

電子限定描き下ろし ————— (210)



馬刺しと
もつ煮オーダー！

もし神々が
今この時を
見ているならば

最高のエンタメに
なっているだろう



郷間！
ごうま

ネギま4本
軟骨唐揚げ

1話


場末の薄汚れた
居酒屋で

はい…

人間に
こき使われる
魔王の姿など

ガッ


ガッ



俺には『魔王』だった
前世の記憶が
断片的に残っている

世界の半分を
支配し

長い歴史の中で
神から送り込まれる
幾人もの勇者を
葬ってきた



何もかも
順調だった

奴が
現れるまでは



勇者
ユーステス

俺は奴と
闘い

やぶ
敗れ

その後
神の采配で

魔力が存在しない
人間世界に
転生させられ

償いとして
苦難の人生を
歩まされている

そして
殺された

母は
俺を産んで
死に

父は
莫大な借金を
遺して自殺した

身寄りもなく
学校にも
行けなかった
俺は

なんとか
日銭を稼いで
生きている



こ…
困ります！
お客さま！

ガッ

ガッ



行け



郷間
ごうま



どよ
ホール
騒がしく
なってきたな

どよ
ねーちゃん
ここに座って
酌してくれよ

どよ

あんなヤクザ
みたいな顔
利用するに
こしたことは
ないだろ



……

アイツ
返事くらい
しろよ



いいんだよ

めんどくさい客は
アイツに任せりや
楽だしな



お客さま





!?

俺の前世の
名前…!?



ガッ

グッ



クンッ…

誰だ…?

アンフェル!



うぐっ!



急に動き止めて おしげ 怖気付いたか?

コイツ 見かけのわりに 大したこと ないな



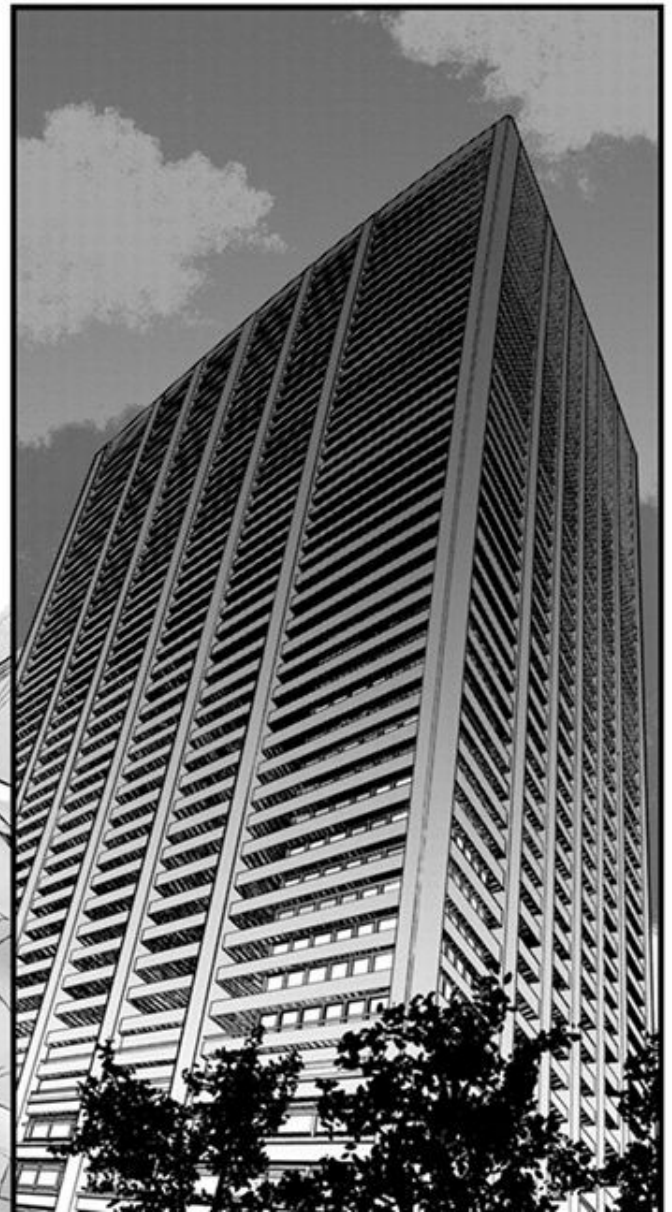
アンフェル! 大丈夫!?

なぜ コイツが現世に...



クワッ

ユーステス…



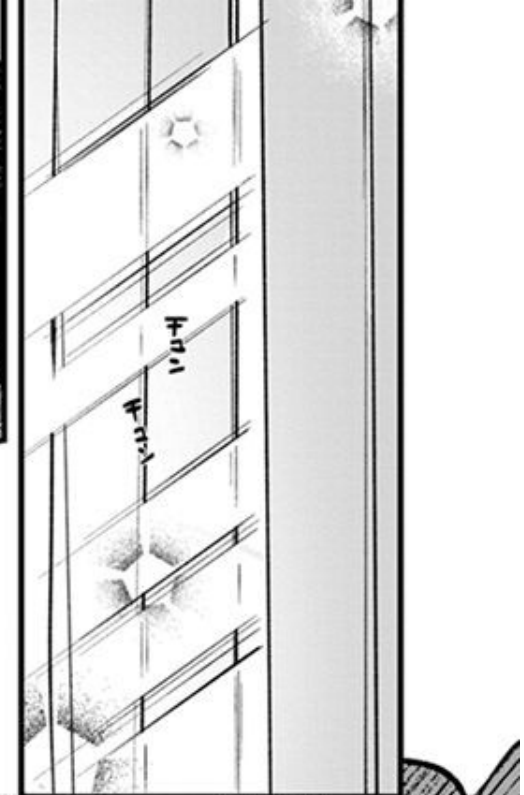
驚いた…

残ってたんだ…
この傷

ずいぶん
探したよ

アンフェル





俺は
一体…

…
ッ



あの後
どうなった？

酔っぱらいの
相手してて…



あの人たちには
大人しく帰って
もらったよ



ごっごっ
ごっごっ

おはよう

アンフェル

ユ…

ユーステス…





よかった



また君に
会えた



嬉しい

は？



何が起こって
るんだ？

んぐっ

むぐ

なんでコイツと
キスを...





何言ってるんだ
コイツ

敵同士の
魔王と勇者が
愛し合ってた？

天地がひっくり
返っても
ありえないだろ



俺にはそんな
記憶はない

あるのは
お前に殺され
何もかも失った
ことだけだ



何気持ち悪い
こと言ってるんだ



お前
転生した時に
頭打ったんじや
ないのか？

違う

失くしている
のは君だ



待って！
アンフェル

構うんじや
ねえ

俺はもう力もない
ちっぽけな人間だ



どこ行くの

帰るんだよ

ここ俺の
アパートから見える
高層マンション
じゃねえか

金持ちの
お坊ちゃんか

ハイ

俺と違って

現世でも
アイツは神に
愛されてる
んだな

惨めな気分だ

キッ





覚えてないの？
僕たちが
愛し合ってたこと

俺は誰かを
愛したことも
誰かに愛された
こともない

ましてや
魔王と勇者が
愛し合うなど

笑えない冗談だ



それに
転生しても
疼く傷跡

俺がお前に
討たれた証だ



なのに

くそ…
まだ感触が
のこってやがる



あんな
必死そうな
顔しやがって



まあもう
会うことはない

アイツは
金持ちの
坊ちゃん

俺は
ただの貧しい男

忘れよう





失態だ

うっかり
アイツの家に
忘れてくる
なんて

……
店長
頭巾紛失したんで
貸してください



お！

郷間
ごうま



ロッカーに
あるヤツを
適当に使え
臭い
けどな



生きてたか！

昨日戻ってこねえ
からてつきり…

いつもと
雰囲気
違います

有名人が
誰か来てるん
ですか？

ああ

この店に
似合ねえ
上客が来てるのよ

オレも生で
初めて見た

かの大企業の
神宮グループ

イケメンで
聡明な
次期社長



な…

アイツ嘘だろ!?

じんぐう ゆうき
神宮 勇樹がな



ぱあ、

あ!

アンフェ…

二度と顔見せんな
って言ったのに
馬鹿なのか?

いや、俺が馬鹿に
されてんのか?



なんで
いるんだよ!

今朝
別れた
ばっかだろ!



ここでは
ごうままだ



むぐっ!?



そうだ
ごうま
郷間さん

これなかったら
困るでしょ



何かの
間違いじゃない?

え...?
ごうま
郷間くん
知り合い...?

うそでしょ

しまった!!



今朝
僕の部屋に
七んやもの...?

固。

こぶさち...



今朝
僕の部屋に
忘れていった頭巾

持ってきたよ

フー...
フー...
フー...



えっ

びっ
びっ

兄ちゃん達
お熱いねえ!

よっ!

ははは



コイツが
現れてから
調子が狂う

カマシ...
カマシ...
カマシ...



全部コイツだ

コイツのせいだ

アキハ！



お前…

もう…ッ

帰れーッ！！



酒屋

のん



おい！

誰か
郷間を止めろ！

ア！

ア





妙な目で
見られるわ

あれこれ
詮索されるわ

うんざりだ

昨日
昨日
昨日

昨日
昨日
昨日

昨日
昨日
昨日



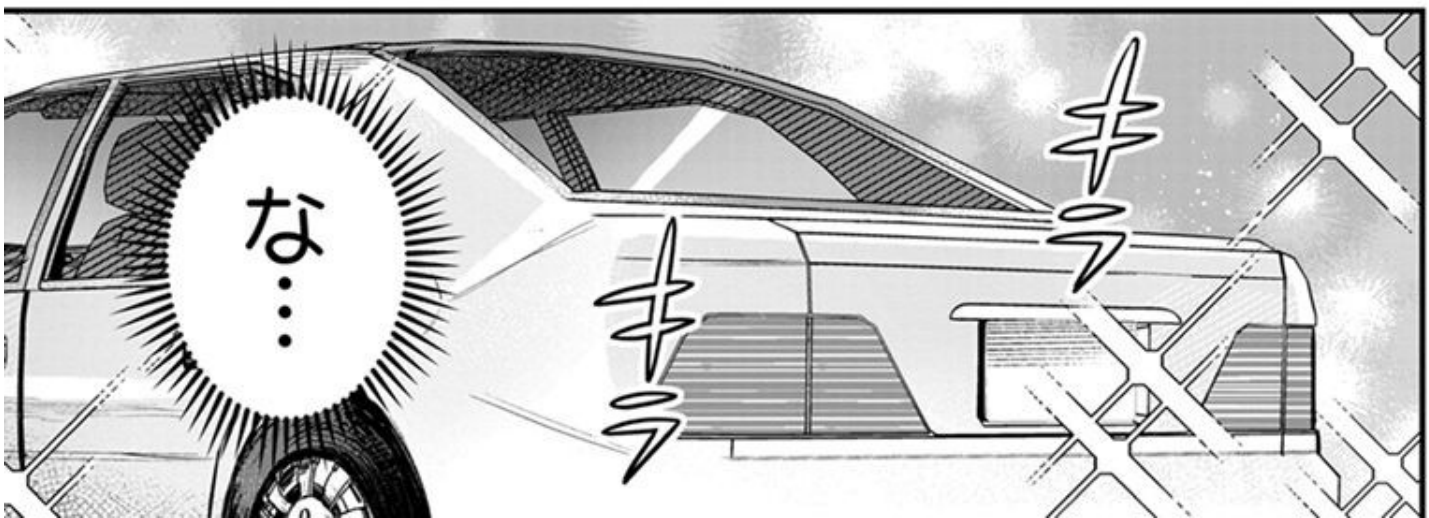
はあ…

アイツのせいで
散々な日だった

スーパー
寄ったついでに
酒でも買うか…



LOA!!!



な…











は!?



フジツク
ヤマト...

はい...

は...

ここまで
追ってきたのか
コイツ!?

あ…

ありがとうございます
ございました

お前

ここまで
追ってきて
何の真似だ

そういう
わけじゃない

どれだけ
惨めにさせれば
気が済む？

ただ君が
困ってたから
助けたかっただけ
だよ

余計なこと
すんじゃねえ

ガサ



俺は他人に
借りを作らない

返す

特にお前からの
情けは絶対
にごめんだ

これはお前で
処理し…

…ろ



アンフェル



ドッ

クッ...



混乱する

チッ...

あの顔を
見ていると
胸がざわつく

なんなんだ



じんぐう
神宮グループ本社

おはよう
ございます
副社長

本日は朝から
田中社長との
会談

そして
夕方から…



どうしたの
ですか？

副社長が
溜息なんて
めずらしい…

体調が
悪いので
したら…

違うんだ
榊さん

プライベートが
色々とうまく
いってなくてね…

私でよければ
聞かせていた
だいても？

うん…

…最近

離れ離れだった
大切な人と
ようやく
会えたんだけど…

どうも
誤解があつて
敵視されている
みたいなんだ

話し合いたい
んだけど
取り付く島も
なくてね

その人が
僕を忘れて
今幸せなら

僕は諦めた
方がいいのか

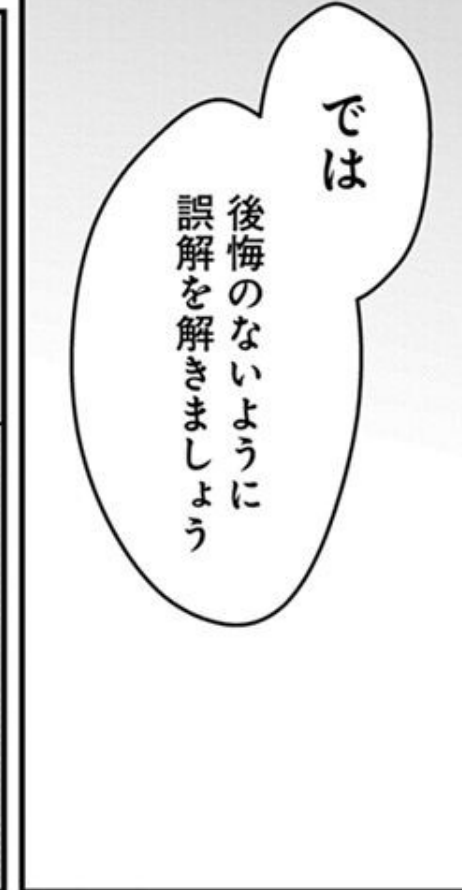
どうしたら
いいのか
分からないんだ

副社長は
その方と

もう一度
やり直したい
んですよね

ピクッ…

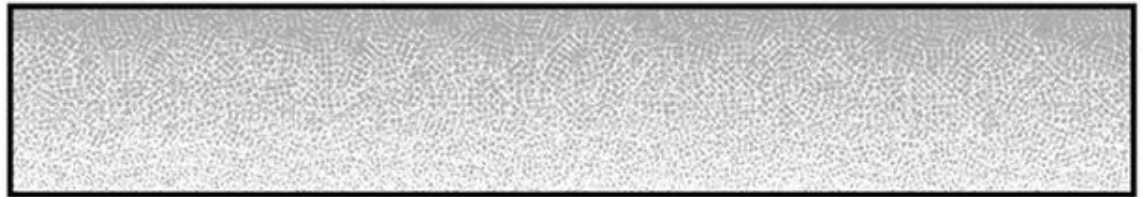
…うん





少しもお力になれたのなら良かったです

参考にしてみるよ
ありがとうございます
榊さん!



疲れた...

今日は特に
キツかったな

な...

ん...?
なんだ?

アパートの前が
騒がしいよう...







わが城へ

ようこそ

ここが
アンフェルの家…



ぬっ

ちよっ

待って…



あいにく
前の城と違って
狭いんでな
用件済んだら
とっとと
出ていけ

バサッ

はっ
はっ
はっ

顔の傷も
だけど…



身体中の傷
どうしたの

ああ？

アンフェル…



むかし借金の
取り立て屋と
やり合った時に
ついたんだよ

借金…？

お前には
関係ない

……





これはまた
お高そうな
弁当だな

いくらだ？



さあ

早く食べよう
アンフェル



先に言って
おくけど
貸し借りとか
なしたよ

スパーン



君は
気にしないで
食べてほしい
ほら！
ほら！

……



僕はアンフェルと
食べられるのが
嬉しいんだ

それがお代
つてことで……

ね？





アンフェルって
色んな仕事
やってるんだね

……

まあな



まあまあ
飲んだね

久々に高い酒を
飲んだ……



僕をここに
住まわせて
ください



っていうか
いつまで
いるつもりだ

もう用件は
済んだらろ
毎晩飲んで
酒も飲んだし

帰れ

その用件
なんだけど

は？



な…
何言ってるんだ

酔っぱらうのも
大概にしろよ
お前

住まわせる
わけないだろ

コイツ
絡み酒か

僕は
本気だよ

君と外で
会えないなら
こうするしかない



家賃出すし

光熱費

水道代

食費も出す

家事もする

いやいや
ちよこと待て

っす

っす

ッリ…

何故

そこまで…

コエーな





こんな形で
君と終わり
たくないだけだよ

そして君と前世
出来なかったことを
やり直したい

僕の意地だ



…ッ

ドキキ…



ちよつとど
今月は特に
金欠だ

…いいぜ
住まわせて
やる

えっ…



そうだ
利用して
やればい



…って
しつかり
しろ俺！
コイツの
ベースに
呑まれるな！

んんん

俺は経費が
浮く

お前は俺に
「恋人だった記憶」を
思い出してほしい

win-winって
ことだ

ありがとう
アンフエ…

ただし

1か月だけだ

それまでに
俺が思い出せ
なかったら
すっぱり諦めろ

わかった…

もしその代わり
思い出せたら

ピッ



無いものは

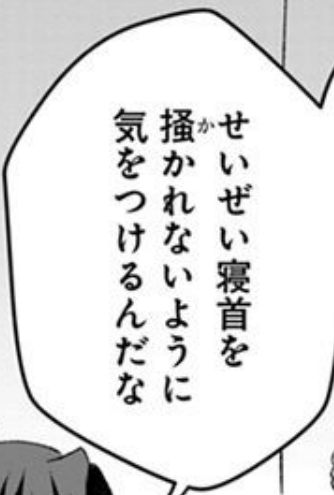
全てはお前の
勘違いだ
というのに



馬鹿な
ユーステス



二度と僕の前から
消えないで



せいぜい寝首を
搔かれないように
気をつけるんだな



言ってる

なごうれいごう
なごう



うん

こうして
元勇者と元魔王の
共同生活が始まった

なあ

お坊ちゃん
よお…

ゴゴゴ

ゴゴ

よくも
デカイ顔して
「家事もする」
なんて言えたな



全然できない
じゃねえか

色移りした
Yシャツ

焦げた
フライパン

「する」とは
言ったけど

「できる」とは
言っていないよ

ヒロツ

聞き直るな

～すべて家政婦任せ～

だから
教えてよ
アンフェル

余計
めんどくさい
ことになった

あと食材
買ってくるのは
結構だが

作れねえなら
弁当
買ってこい!

僕も
手伝うよ

家では
作りたく
ないんだよ

誰が作ると
思ってたんだ?

お前がいたら
ややこしく
なる!

入ってくるな!

ホイ



アンフェルって
料理上手だ

おいしい



ふん
当たり前だ

一応
居酒屋の厨房で
働いてんだから

まずい料理は
だせないだろう



そうだね

アンフェルと
一緒にいられる

幸せだ

副社長
おはよう
ございます

みんな
おはよう

おはよう
ございます

玉城さん
昼から会談が
入ったから場所
押さえておいて

てき

はい

おま

鈴木さん
企画部のプラン
そのまま
進めてくれ

ねえ…

ザワ

ザワ

!!!









僕は君を
傷つけるものを
許せない



前世

戦災孤児で
死にそうだった
僕に

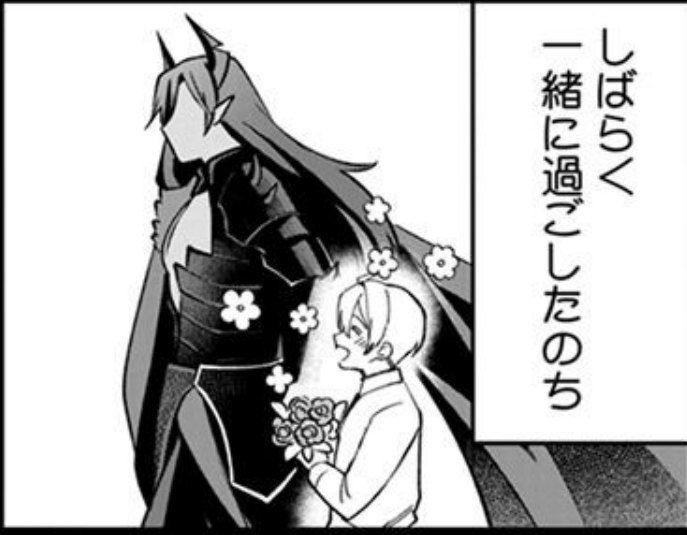
魔王アンフェルは
手を差し伸べて
くれた

希望の見えない
世界で



僕にとついで
唯一の光だった

しばらく
一緒に過ごしたのち



彼は姿を消して
僕は教会に
拾われた

そこで彼が
魔王と呼ばれる
存在だと知り



僕は
剣をとった

倒すためじゃなく
ただ魔王にもう一度
会いたかった

僕以外の誰かに
彼を奪われたく
なかった


彼の孤独と
優しさを
知るのは僕だけ

そして

僕は正式に
勇者となつて


魔王アンフェルと
再会した





僕らはすべて
惹かれ合い

何度も
逢瀬を重ねた



俺を殺せ
ユーステス

お前になら
俺は…

最期は悲劇に
終わってしまった
けれど



わかった
今向かうよ



失礼します



副社長
そろそろ
会議の
お時間です

ガキヤ



今度こそ
僕は君を
幸せにしたい



シーザーサラダ
カキフライ
オーダー！

エイヒレ
追加で

焼酎水割り
1つ
生2つ！

ガキヤ

ガキヤ

カチカチ カチカチ



どっどっど



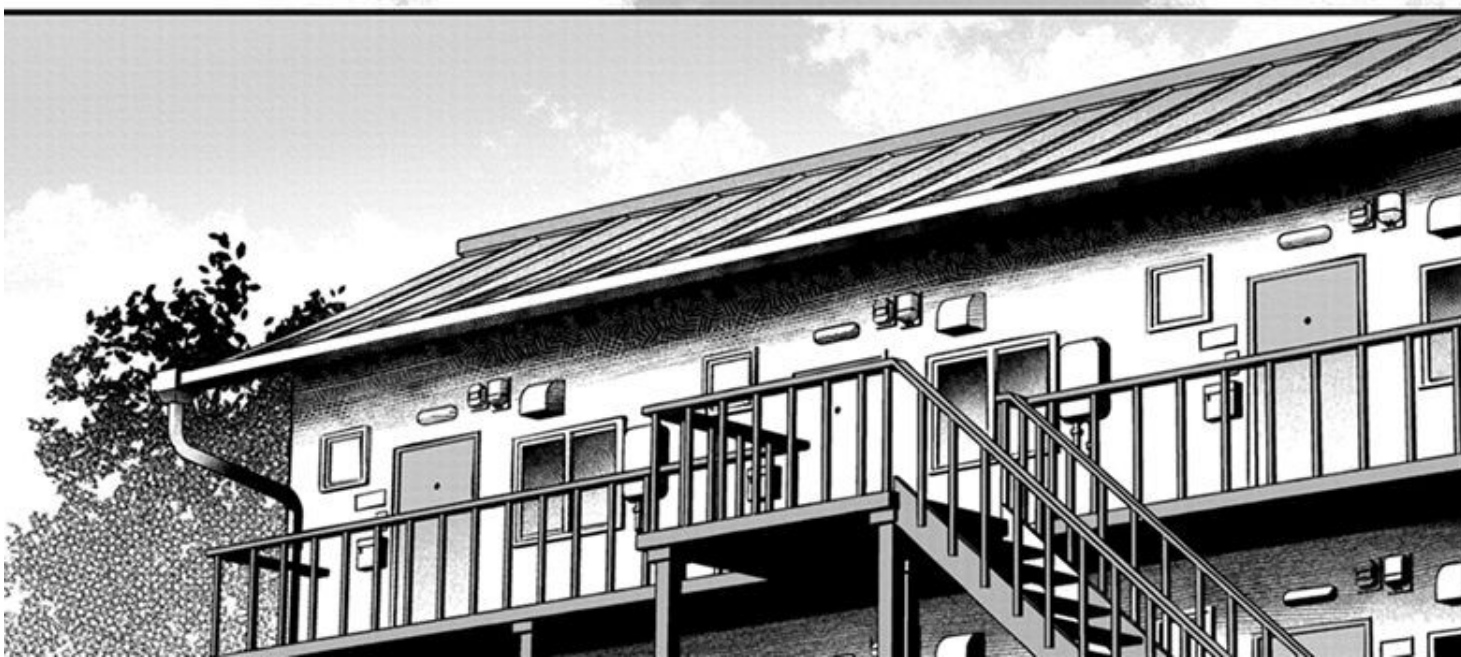
どっどっど...
どうした
郷間ごうま
久しぶりなのに
やけに機嫌が
悪いな

おま...
おま...

心当たり
あるんじゃ
ないっすか？

個人情報
流した類たぐいの







焦りが見えない

おはよう

おはよう
アンフェル



あれから
何日か
経ったが...



これ見よがしに
カレンターに
印付けてやってる
のに...



全く動じない

アンフェル
今日
休みだっけ

ああ...

なぜだ

しかもここ最近
帰ってくる
時間も遅くなった
気がする

ぼ
たり

…おい

このままで
いいのか

後二週間
だぞ

もちろん少し
焦ってるし

思い出して
ほしい


そうだね…

だからって

僕が思い出話を
しても
君は聞く気
ないでしょ


…まあな

それにね
これは最初から
賭けだった




あの時
君が僕の無理な
お願いを聞いて
くれて

僕に
チャンスを
くれただけで
十分なんだ



こうして君と
朝を迎えられる
のが

どうしよう
もなく嬉しい



今は焦りより
それが大きい
かな







何の用やと？

どういう
ことだ

全く話が
見えないな

とぼけるのも
ええ加減にせえ

お前に
あんなツテが
あるなんて
信じられへんが

おかげで
うちの事務所は
メチャクチャヤ

お前よくも
エライこと
やってくれたなあ

ごうま
郷間

ただいま…

今から
こっちへ来い

駅前
待ち合わせや

ツ!
!?

来やんかったら
そっちに
出向いたるわ

アンフェル…?

こいつを
巻き込むわけ
には…

わかった
今行く

先食って
寝てろ

遅くなる

用事が
できた

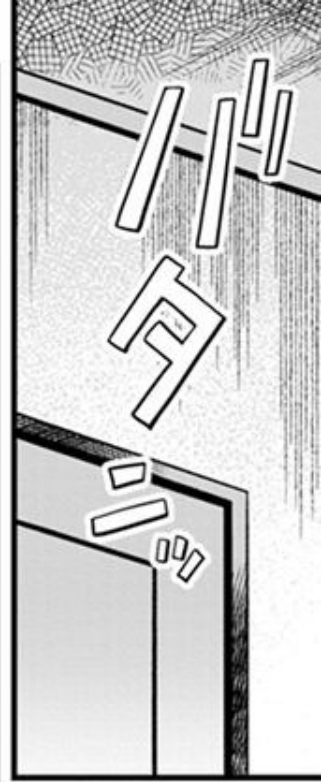


今日は
休みのはず

それに
アンフェルの
動揺…



胸騒ぎがする



取り立て屋
奴らか！



アンフェル…！

ばっ





今度その人に
関わったら

次はお前を
潰す

くっ…

行こう

郷間さん
ごとうま

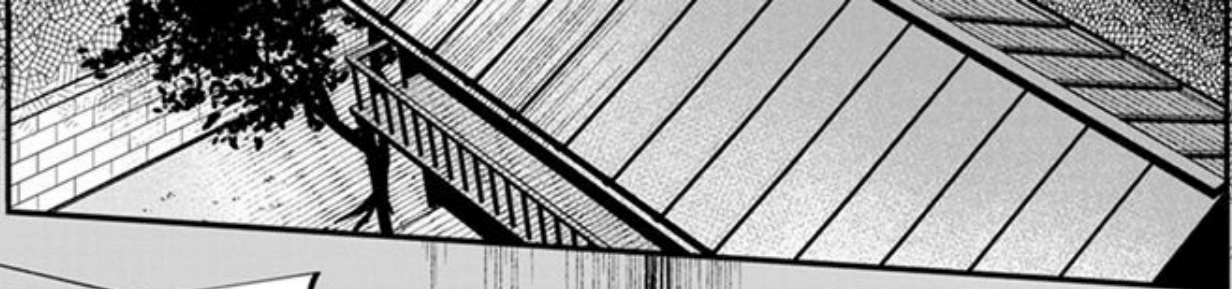
お前…

馬鹿か
そんなこと
したら…

お…

おいっ!





貸金業者の
事務所を
潰しただと!?



そういう
ことじゃねえ

前も
言ったよな
余計なこと
するなと

これは
俺ひとりの
問題だ

お前は
関わらなくて
いい!

ご…めん

君を
危険に
さらした

僕はっ

君はもう独り
じゃないんだ



アンフェル



君がひとり
傷つくのを
見たくなかった！



君の力に
なりたかった！

愛してる

君は独り
じゃない

この言葉
どこかで…

愛してる


そっか

心のぬくもりを
知ったまま

ひとり
地獄は耐えられ
ないと

死に際に
葬り去った
記憶…






俺は
生まれながらに
迫害され

長きに渡って
抗ううちに

いつしか魔王と
呼ばれる存在に
なっていた




死にかけていた
子供に手を
差し伸べたのは

ほんの気まぐれ
だった

俺に会うために
勇者になったと
聞いたときは
笑った

これが
神の仕組んだ
ことなら大成功だ



なのに俺を
見るまなざしは
まぶしくて

こいつのために
殺されてもいい
なんて思うほどに


そこで
俺は初めて
愛を知った

愛していたの
だから——！



思い出した

全て



アンフェル……？



記憶が
戻ってくるなんて
想像もしなかった



トセララフ公開

勇者(幼少期)が一時的に
魔王に拾われ育てられていた頃の
シーンです。

おどやかな思っ出のワニシーンと
入ったいな...と思っ描きおこした
ラフです。

昔育てた少年が時を経て
イベントになって迎えにくる
シチュエーションが大好きで
スキあらは"入ったくなります。こ



前世バッドエンドのシーンです。
自ら勇者の剣に身をまかせた
シーンを描きたくて描きおこし
ました。

立場上は敵同士で
剣に身を次々ながら最期イキを
するシチュエーション個人的に
お気に入りです!!

{ トセラにするには少し重いのを
ボツにしました (´Д`) }





もしかして

アンフェル

思い出して
くれたの…？

4話



アッわわわ…



……！

お前の勝ちだ
ユーステス…

ああ





…好きにしるよ

ここまで
追いかけてきた
ご褒美だ



あ…
ごめ…

そんな
つもりじゃ…



いいぜ



僕は…

ゴク…

お前は
どうしたい？



アンフェルトと

つながりたい



二度と僕のことを
忘れないように



相変わらず
直球だな

お前は

フッ

君に
刻み込みたい







溜めてきた
年数分…

限界のくせに
意地を張るな

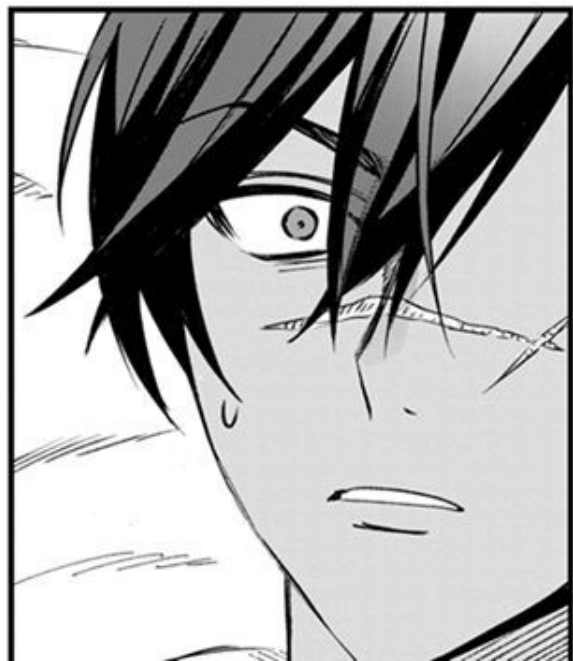
めちやくちやに
してくれよ

うっ!

グイッ



フッ



……分かった



受け止めて

僕の想い全て







何が
起こった…!?

じん
じん

身体中に
電流が走った
ような…

チャッ
チャッ



他の傷は
転生したら
消えたけど

僕のつけた傷跡は
消えないまま
遺ってる…

アンフェルの
命を奪った
忌まわしい傷跡が

今は愛しく
思えるんだ



アンフェル…
イツた?

な…!?

ぼっ



急に妙なこと
するからだろ!

傷跡に
触んな!



それは
出来ないよ

ボク



もっともっと
君に遺せたら
いいのに…



フッ…

チリッ…



傷一つない綺麗な
身体しやがって…

アンフェル…

ふう

ふう

アンフェル…

ヌプッ

ヌプッ

こいつだけ
ズルいじゃねえか

動くね



よく見たら

はっ



お前ばっか
遺していき
やがって





ア
ア
ア

ア

ア

ア

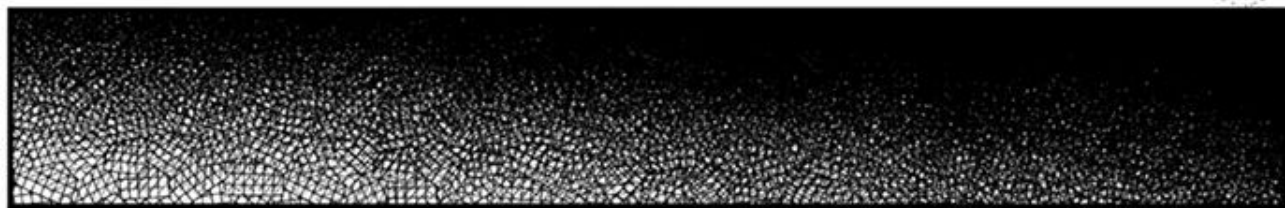
ア

ア

.....
.....
ツ

ほ

俺にだって
遺させろ







そ...

そっか



これからずっと

アンフェルと
一緒にいられるん
だね



ああ

そうだな

ずっと

一緒に…か



あのさ
アンフェル

僕の家で
暮らさない？

便利だし

色々
設備も充実
してるし

家政婦さんも
いるから
不自由しないよ

これから
一緒にいられる
んだったら…

いや…

俺は
ここでいい

住みなれてるしな

…そっか





はぁあぁあ、

.....
ッ



スルスルス



いつて
きます！



俺は何
新婚みたいなこと
してんだ……！！

スルスルス
キス



はぁあぁあ……



あそこで
一緒に暮らそう
…か

ここと比べりゃ
快適さは天と
地の差だろうな



だがその言葉で
冷静になった



アイツは
大企業を担う
御曹司で

俺は何も持たない
男ということ
を思い出した



俺とアイツが
良くて
周りは許さない
だろう

俺のせいで
アイツの人生に
影を落とす
かもしれない

だからアイツの
「あいつ」を信じて
ついていくのが
恐ろしい

こんなに
臆病だったのか
俺は…

We will shortly be landing
at Haneda Airport—

We will now taxi you to the gate,
please remain seated…

コオオオオ...



ふふ
楽しみね

久しぶりに
日本に帰って
息子に会えるわ

あなたも日本は
久々なんでしょう？

マリアさん



ええ

ずいぶん幼い時に
住んでたので
少し忘れていますが

到着するのが
待ち遠しい
ですわ

ああ

本当に楽しみだわ

かきこむ
かきこむのね



ユーステス様…

ユーステス…



俺が記憶を
取り戻した
あの日から

気持ちいいよ

アンフェル…

ユース…
テス

ひら

はち

ふっ

互いを確かめ
あうように

俺たちは何度も
体を重ねた

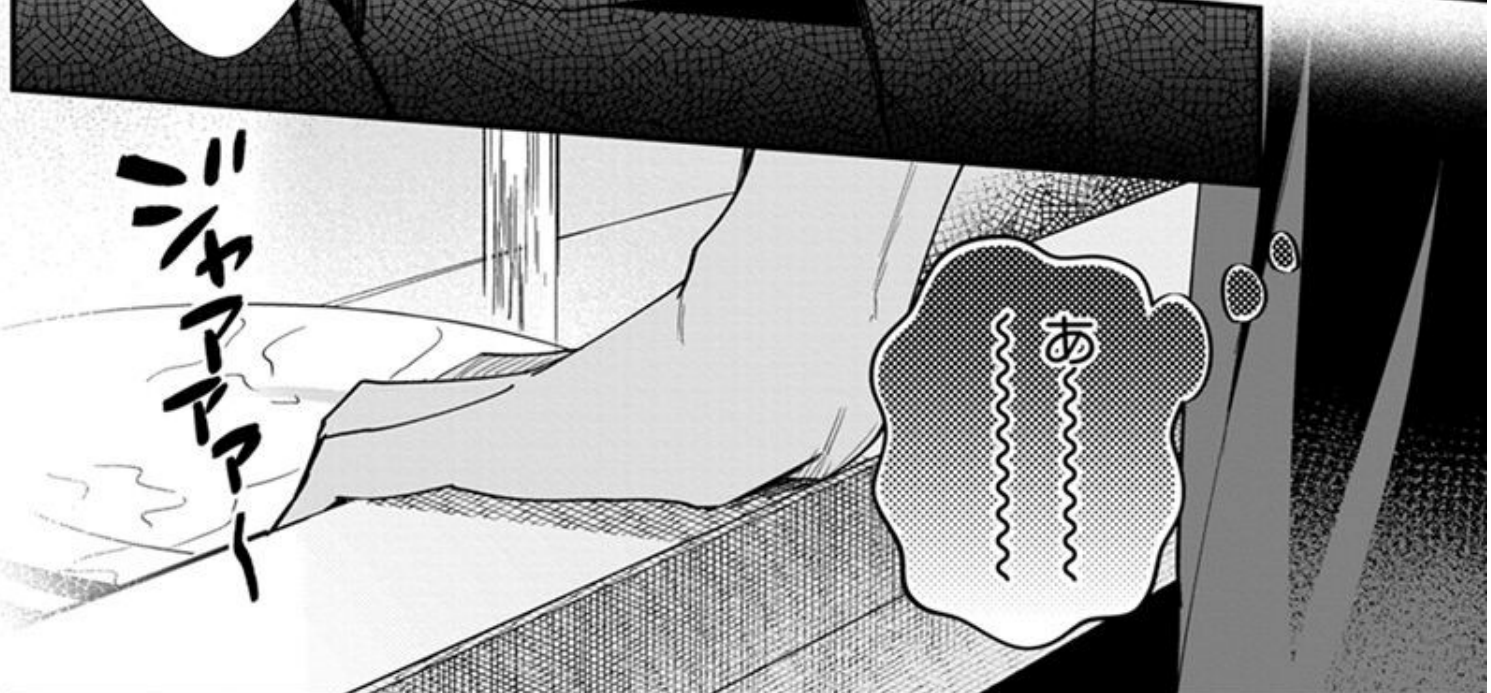
愛してる

はあ…



愛してる…

ああ
俺も…



ヒヤッヒヤッ

あ



じん…



職場で
思いおぼよな
…！



昨晚の感覚が
まだ残ってるせいだ

……ッ



今日の
まかない作ったの
お前か？



郷間
ごうま

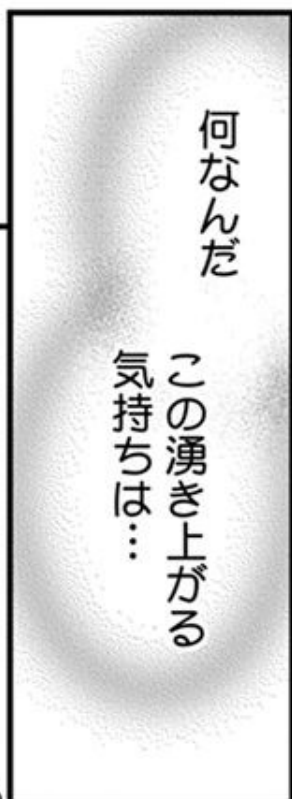


なにか
問題でも
ありましたか

ちがう
わよ！

とっても
美味しかった
から

びっくり
しちゃって



何なんだ

この湧き上がる
気持ちは…



この人がメニューに
加えられるん
じゃないかって

おん…
バ…バカ
そこまで
言ってねえ



そうっすか

ありがとうございます
ございます

ろっけっ

ほっ...

おっ...

今までの
澱よどんでいた世界が

心なしか
晴れやかに
見える

ちよっと！
郷間君が
笑ったわよ！

俺も
驚いた...

ドキ
ドキ

はじめて
みた...

この穏やかな
日々が

ずっと
続いたらいいのに——

きっと
ユーステスの
おかげだ





アンフェル!

こっち向いて!



あま

あま

スーツ姿
かっこよすぎるよ
アンフェル…



これは
どういうことだ

キス

おい



君にスーツを
プレゼント
したくて

オーダー
メイド
したんだ

見立っやエロ
似てる
!!



それはもちろん
アンフェルのサイズは
全部把握してるからね

こえ
怖えよ

ヤア



俺は頼んだ
覚えはないぞ

なんでサイズ
ピッタリなんだよ



僕の父と母に
君を紹介したい
んだ

とろり



というか
俺にスーツなんか
着させて

どこへ
連れていく
つもりなんだ？

今度の休み
アンフェルの予定
空いてたよね？

ああ

??

久しぶりに
母が日本に
帰ってくるんだ

いい機会だと
思ってる

いや

ゲホッ
ゲホッ

いくら何でも
急すぎるし
早すぎるだろ!?

きつと
この日々は
終わる…

……

それに…

アンフェル…



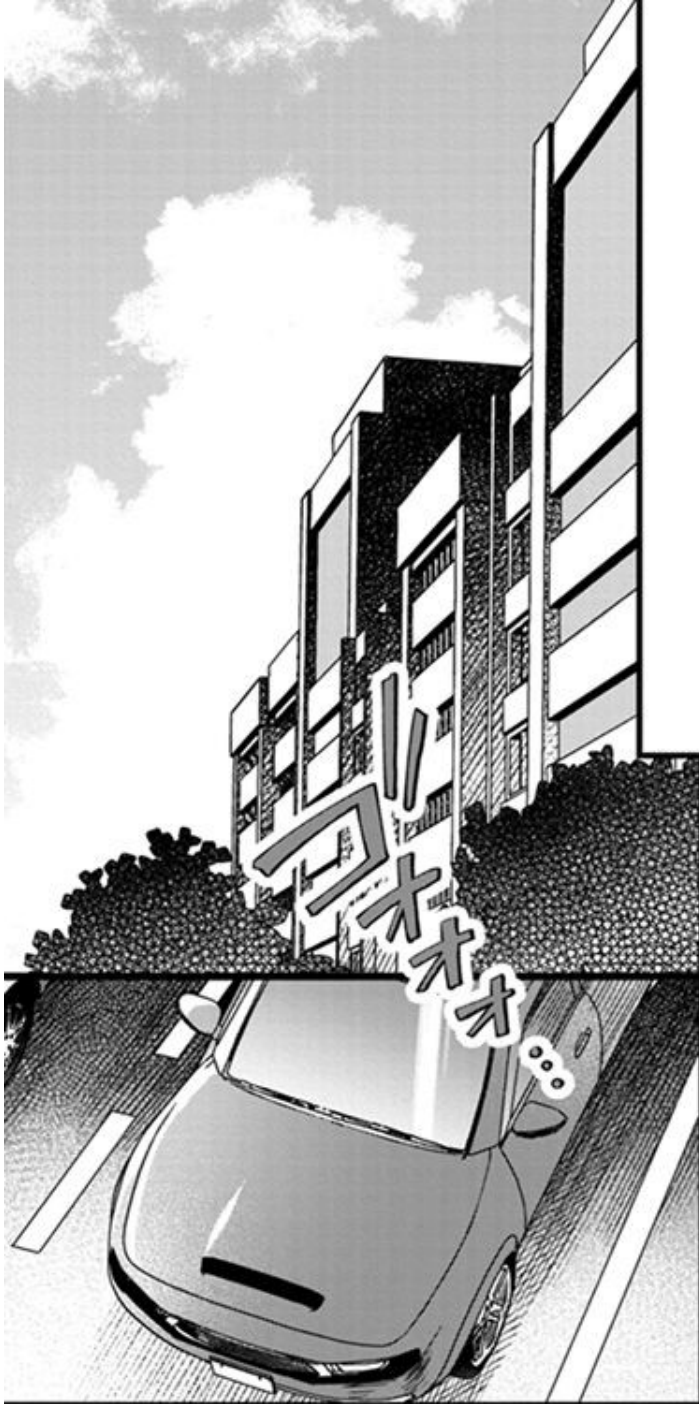
大丈夫



みんなに
認められる
ように

時間が
かかっても
僕がなんとか
するから

君はずっと
僕の傍に
いてほしい



コオオオ...



はあああ~~~~~...



.....
おう

気付けば
俺はユーステスに
助けてもらって
ばかりだ

俺はコイツに
何をされてやる...??





ぎゅっ

!



到着いたしました

カ
タ
カ





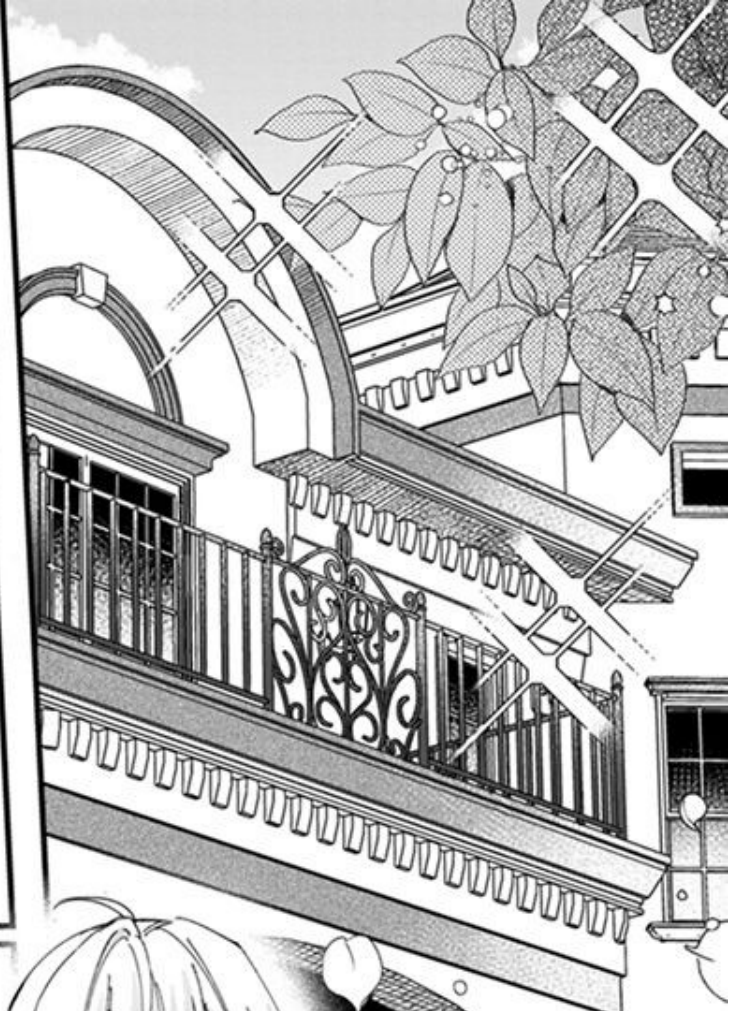
魔王に挑む
気分って
こんな感じ
だったのか？

元良王。

こちらで
ご夫妻が
お待ちで
ございます



コソコソ



お久しぶりです
父さん
母さん……

お父さん







勇樹 ゆうき
久しぶりね

元気そうで
何よりだわ

今日はあなたに
紹介したい人が
いるの

こちらは資産家で
あなたの婚約者
候補の……

少し
失礼いた
しますわ

!?

マリアさん
どうしたん
でしょう

もしかして
体調でも
悪いのか？

バク……

……



絶対に

絶対に

許せない

肝心な時に
力になれなかつた
前世の私とは違う

今度こそ
あの魔の手から
お救いしなければ

ところで
ゆうまき
勇樹

先ほどから
気になってたん
だが：







最近
お前のとこの
家政婦から

お前が家に帰って
いないと
聞いていたが

その男と
一緒にいた
わけだな



そうか

そういう
ことか



父さん
それは…



お前は
会社の未来を
担う人間なんだ

どこぞの
馬の骨とも
分からん怪しい男
となど

絶対に
ならんぞ!

な…

私^{ゆうき} 勇樹様と
結婚いたします

神宮社長の
言う通りですわ

マリア嬢！

おお…！

一目ぼれ
しましたの

先ほどはそれで
取り乱してしま
いましたわ

申し訳
ありません

魔王
アンフェル

ユーステス様を
不幸に貶めた
かったのでしょう？

残念
でしたね

…は？

早く！
この部外者を
外に出して！

んなわけ
あるか！

離せ！

話を
させろ！

ききろ



ユーステス…

やっぱり
こうなるんだな



ああ

アンフェル！

パン…



今後一切
勇樹様に
近付かぬように
との

神宮社長からの
言伝です



雨の予報だったか

行きは車だったから失念してたな

無意識にアイツと帰路に就くと思っていたのが笑える

じんぐうゆうき
神宮勇樹の人生を考えるとこの結果が正解だ

これでよかったと思う気持ちもある

だがその気持ちと裏腹に

俺は

ユーステスと共にいたかった

ん

ん

なんで涙が
出てくるんだ

泣いたって
何か変わるわけ
でもねえのに



勇樹^{ゆうき}

お前は
頭を冷やすまで
自宅から出るな

いいなり

スマホは
新しいものに
交換しておく

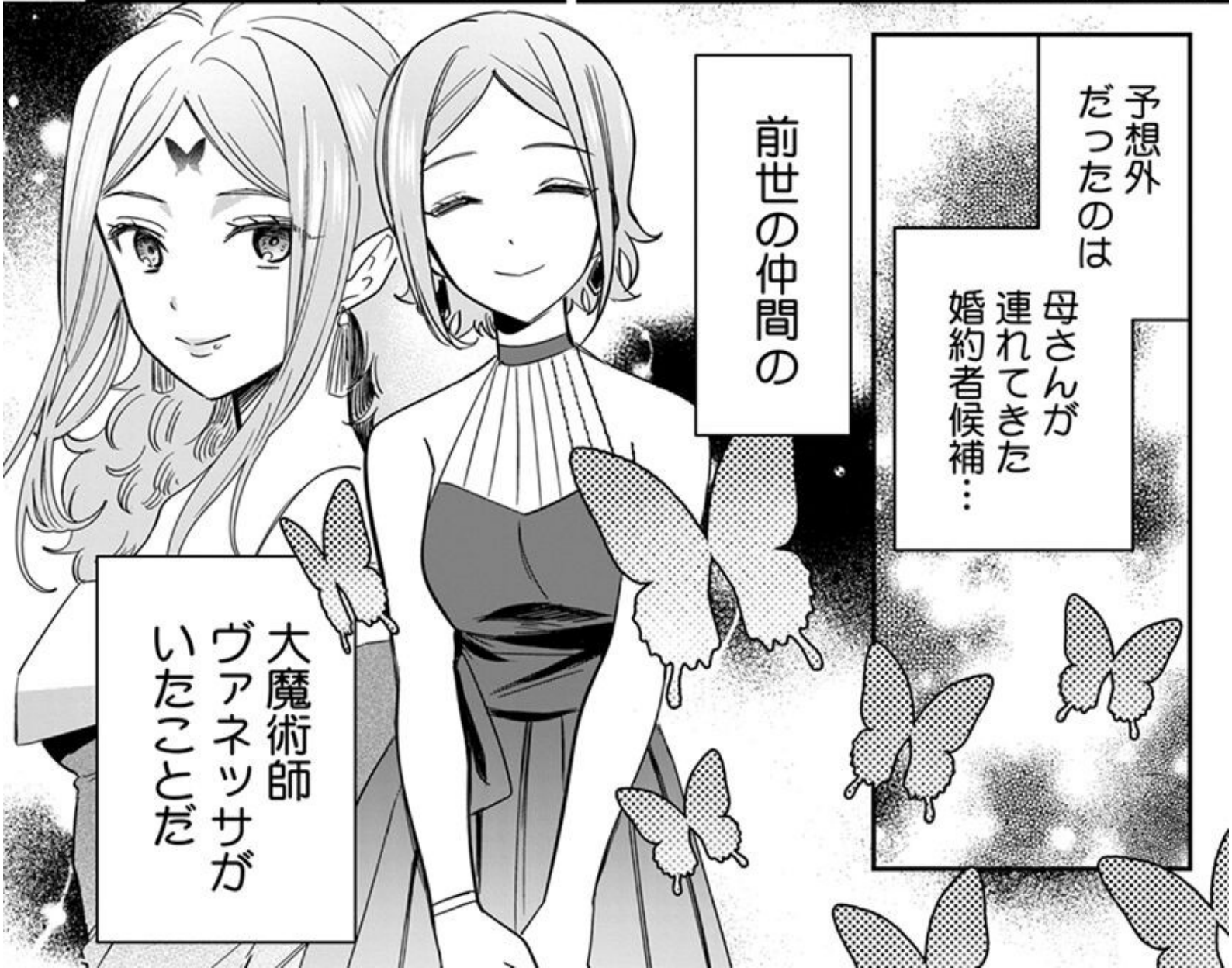
一筋縄では
いかないことは
百も承知だった

予想外
だったのは

母さんが
連れてきた
婚約者候補…

前世の仲間の

大魔術師
ヴァネッサが
いたことだ





ヴァネッサ
どうして
こんな……

私も
不思議ですわ

こんな巡り
あわせが
あるなんて



きこと

ギッ……

前世と
同じように

私は
あなたの傍に
いる運命
なのですね



なので
この世界でも
パートナーとして

あなたを
お支え致しますわ

まさか
こんなことに
なるなんて…

は…

おい…

アンフェル…

ユーステス…

必ず迎えに行く
から待ってて…



支払督促

俺は人間として
生きていくうちに

運命に抗うことを
諦めてきた

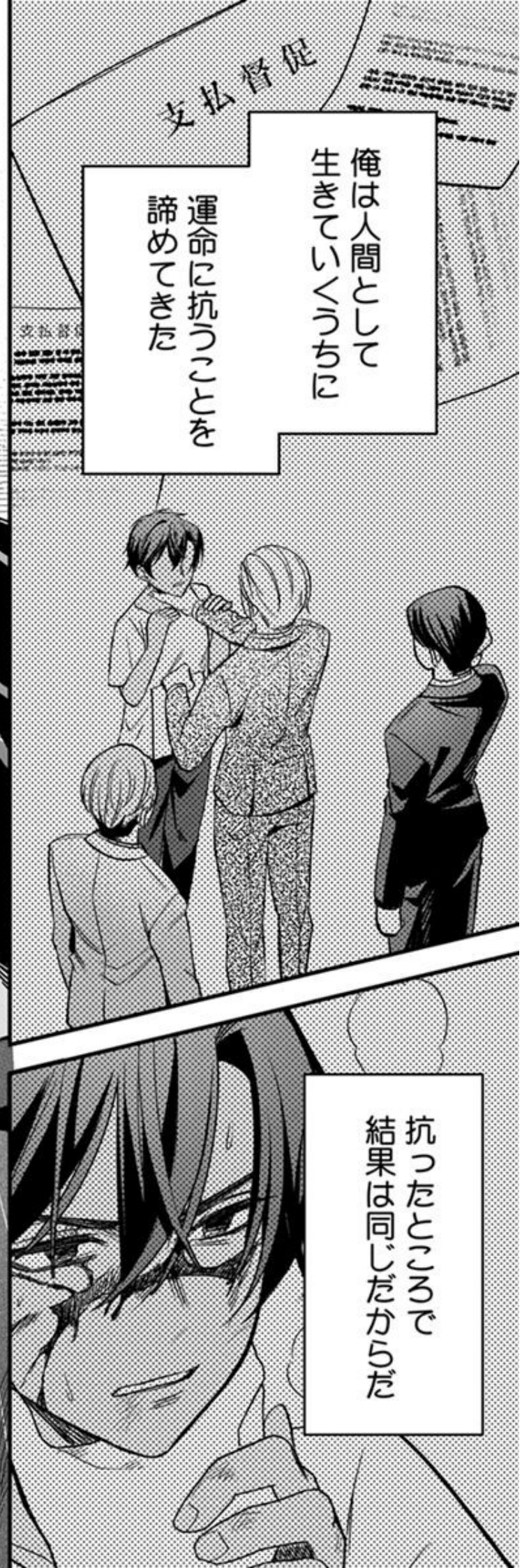


抗ったところで
結果は同じだからだ

う…ん

しゅん

ア…





やべえ…
家に帰った途端
そのまま寝てたか…

どろり…

スーツも
床もびしょ
濡れだし
最悪だ

クリーニング代…

ドクドク



パソコン…!

パソコン

パソコン…



…



…ダメもとで
かけてみるか…

おかけになった
電話を
お呼びしましたが

お繋ぎできません
でした

ポッ

だよな

ふっ

ははは、

我ながら
未練がましい

そつだ

これでいい

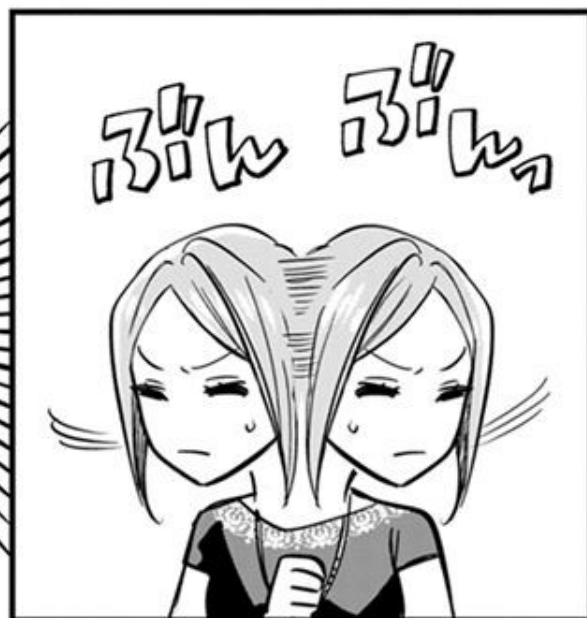
これで……

お忙しいのに
社内を案内
いただき

ありがとうございます
ございます

とても有意義な
時間でしたわ

ゆうき
勇樹様





幼い頃から
少し大人びた
ところはあったけど

普通に明るくて
人懐っこい子
だった

だけとある日の
誕生日

欲しいものを
尋ねると

見たことも
ないような
切ない顔をして
こう言った



…今は
何もいららないよ

その代わり

もし…僕が
本当に望むものに
出会えた時は
認めてほしいんだ





貴方が望むものって……

勇樹
ゆうき



アイツと
別れてから



なんとなく家に
いるのが嫌で

ギリギリまで
働いては寝るの
繰り返し







郷間ごうま

早く言えよな
送別会してやろう
ってんのによ

お前
仲良んだろ?



いなくなるって
どういうことっスか



い…



ん？
お前知らなかった
のか？

何日か前の
ネットニュースで
フランスに行くって
書いてあったぞ



いなく…?

なるだど…?





諦める



そつちやって
生きてきただろ



何も問題ない

出会う前に
戻っただけだ







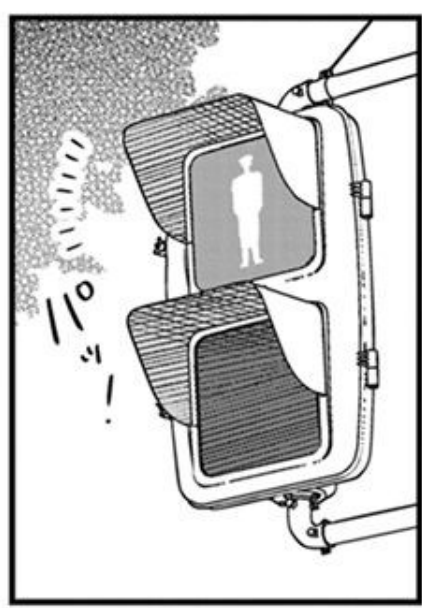
出発は
今夜：

ここから
空港まで遠いが
走って電車で
いけば間に合うか



俺に魔王の
力があれば
ひとつ飛び
なのによ

クソッ
信号が！



ちっほけな
人間になった
としても

走って
追いかける
ことはできる



…いざ

無いものに
すがつても
無意味だ



あいつは
前世でも

現世でも

しつこいくらい
追いかけてきた

運命に
抗おうとした





俺は「キーン」に
何をされてやれる……？



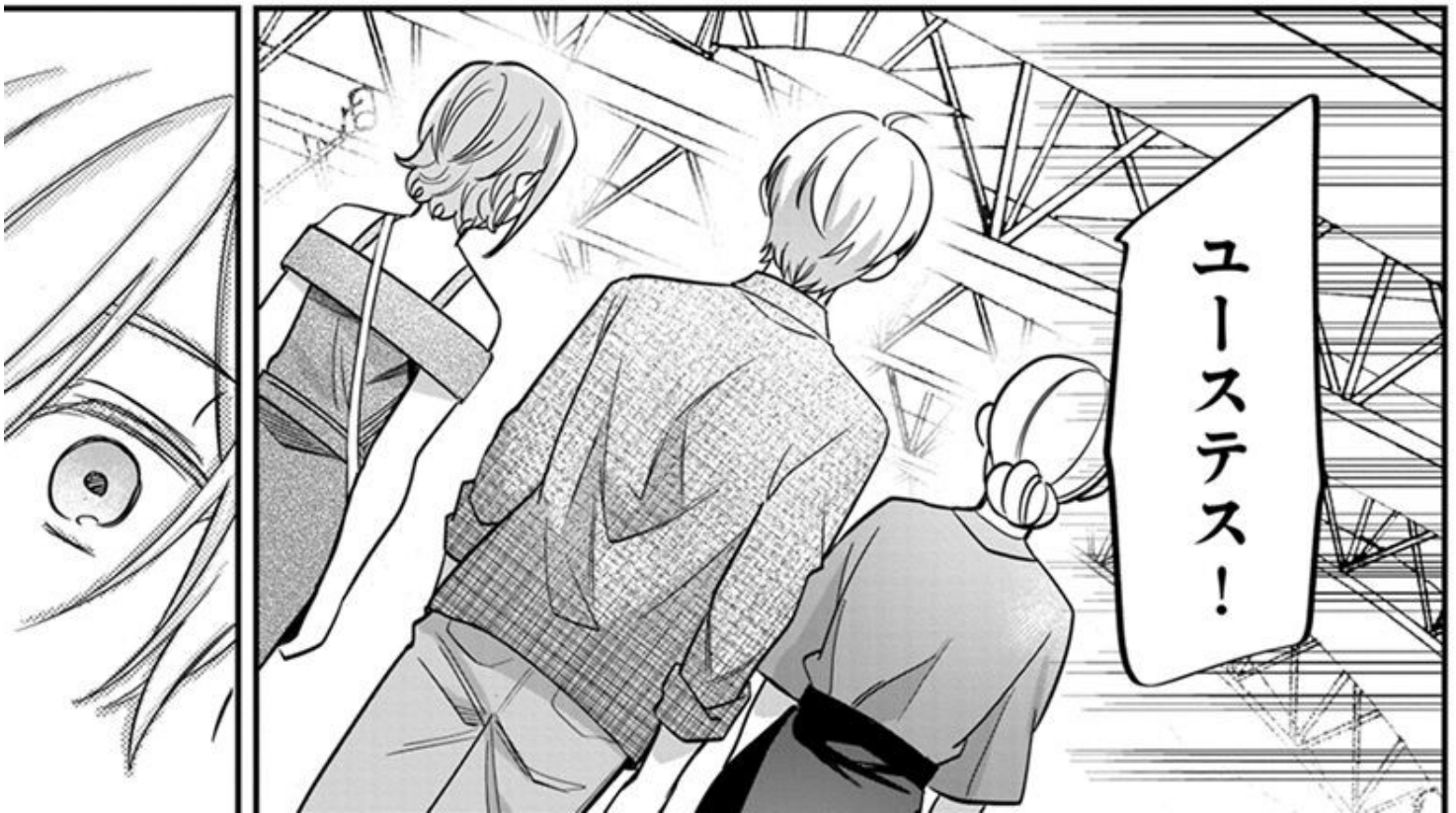
時間がかかっても
僕がなんとかか
するから……



もう一度運命に
抗うことだ

今俺に
できることは









ア...

アンフェル...!

が!
ば!

!?

人前っ...

おいっ





フランスに行くのは
一週間だけなんだ

は？

大きな商談が
あってね

それって
つまり

それを成功させたら
父さんもちよつと
言うこと聞いて
くれるかなって
思ってたさ

俺の早とちり…

っそうかよ

事を荒立てて
悪かったな

待って

カアアアアア



母さんと
マリアさんに
話があるんだ



場所を
移そう

ゆうき
勇樹……

…母さん
驚かないで
聞いてほしい

おまじい
おまじい

話って
何なの？

信じられないと
思うけど

僕たちには
前世の記憶が
あるんだ







この期に及んで
嘘をつく気ですか

魔王によって仲間が
散り散りになり

たどり着いた時には
魔王の屍と
その隣で亡くなって
いるユーステス様を
私は見たのです



俺は殺^やって
ねえよ!



むしろ
アンフェルは
僕に殺される
ことを望み

僕はそれを
受け入れた
んだ



ヴァネッサ
君は大きな誤解を
している



僕は
殺されてなんか
いない



僕はその後
自分で命を
絶ったんだよ

ヴァネッサ

な…



自害した
だと…？

どうして
そんな…

ふんっ…

昔：
絶望の中に
いた僕に

希望を与えて
くれたのは
アンフェルだった

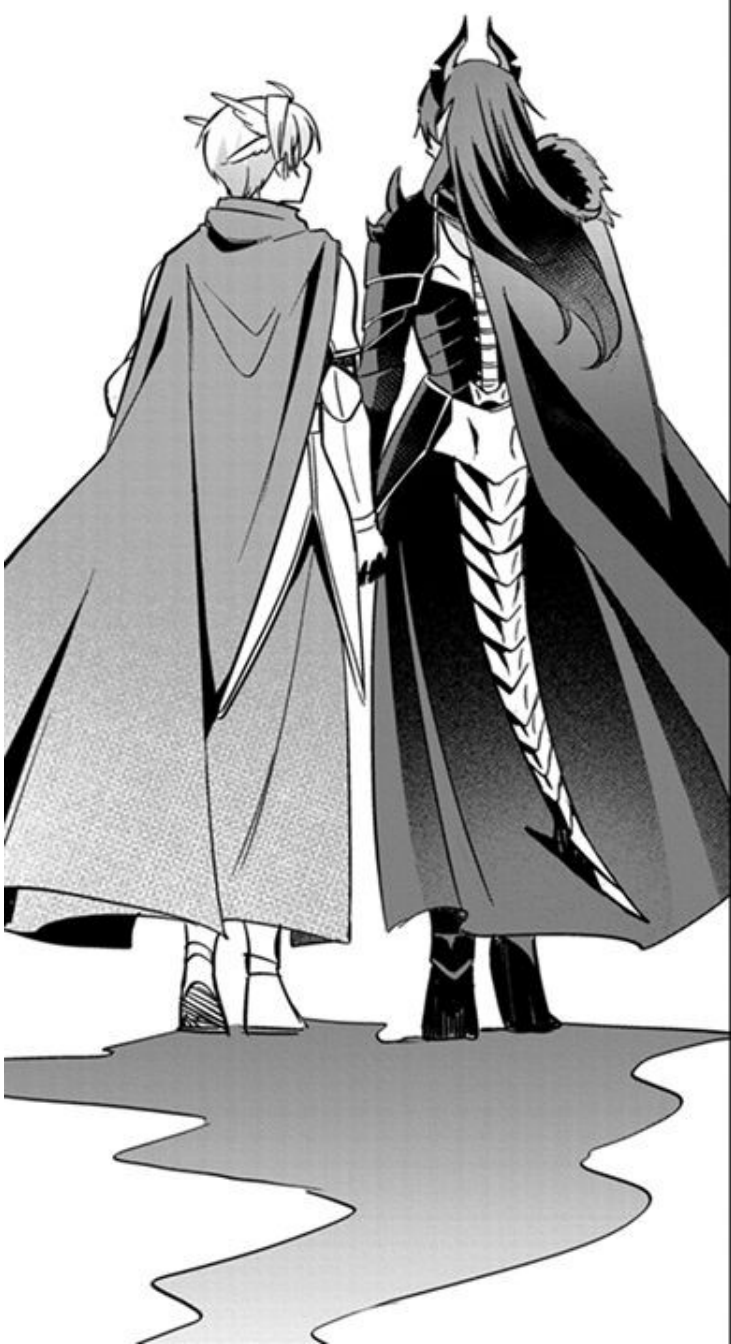
僕の幸せは
はじめから
アンフェルと
ともにあるー！…

僕が今
ここにいるのは
全部アンフェルの
おかげなんだ

君には
幻滅されるかも
しれないけど

元々
勇者になったのも
世界を救うため
じゃなく

アンフェルに
もう一度
会いたかった
からなんだ





どうか
この世界で
共にいることを
赦^{ゆる}してほしい

母さん…

ヴァネッサ



真っ直ぐで
お優しい
ユーステス様を

誰よりも
敬愛しておりました



私は…



勇^{ゆう}樹^き…



…

キュ…

できることなら
この世界でも
お傍でお支え
したかった…

ユーステス様に
魔王アンフェルと
共にいることが

幸せだと
言いきられて
しまえば

…ですが

私の出る幕は
ありません…

ヴァネッサ…

ただし！

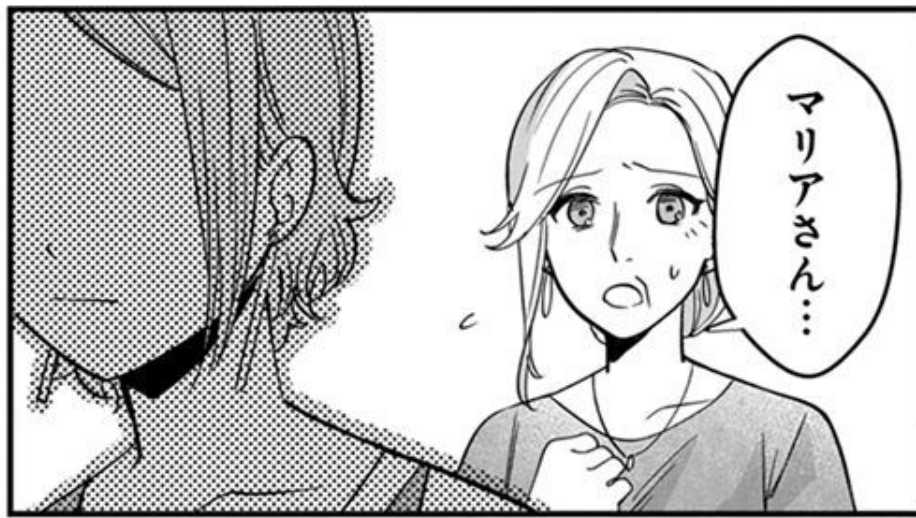




魔王アンフェル

あなたがもし
ユーステス様を
不幸にしたら

私は地の果てまで
追い詰めるので
覚悟して下さいね



マリアさん…



大丈夫ですわ

別にこれで
今生の別れこんじゆうというわけ
じゃありませんから…

いお



…おう



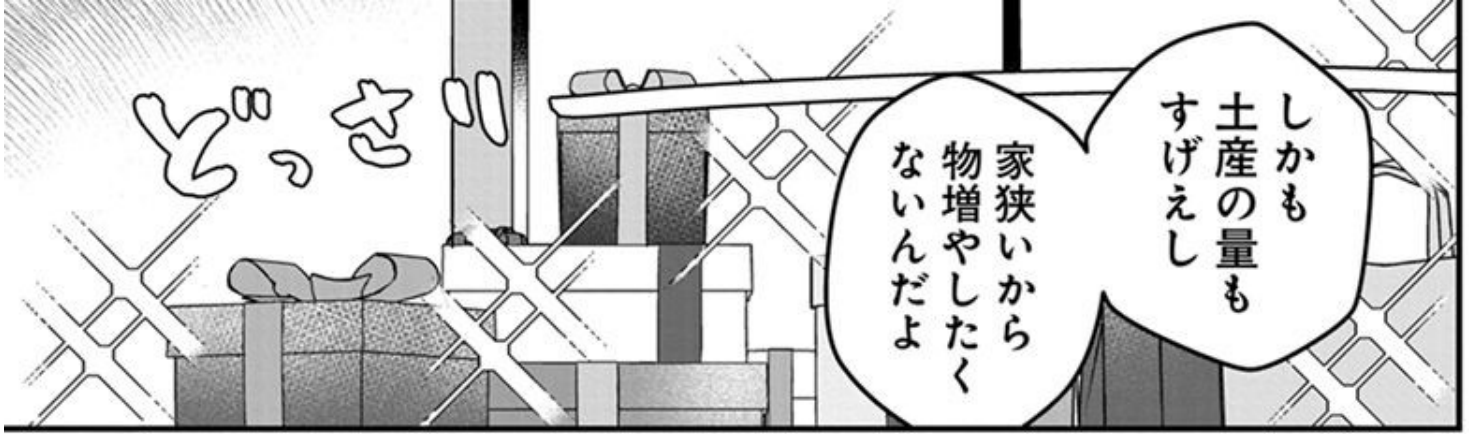
辞退させて
いただきます

勝手ながら
この婚約

ヴァネッサ
ごめん

ありがとう





家狭いから
物増やしたく
ないんだよ

しかも
土産の量も
すげえし



それなんだけどさ

今度こそ
僕の家に
住まない……？



またそれか……

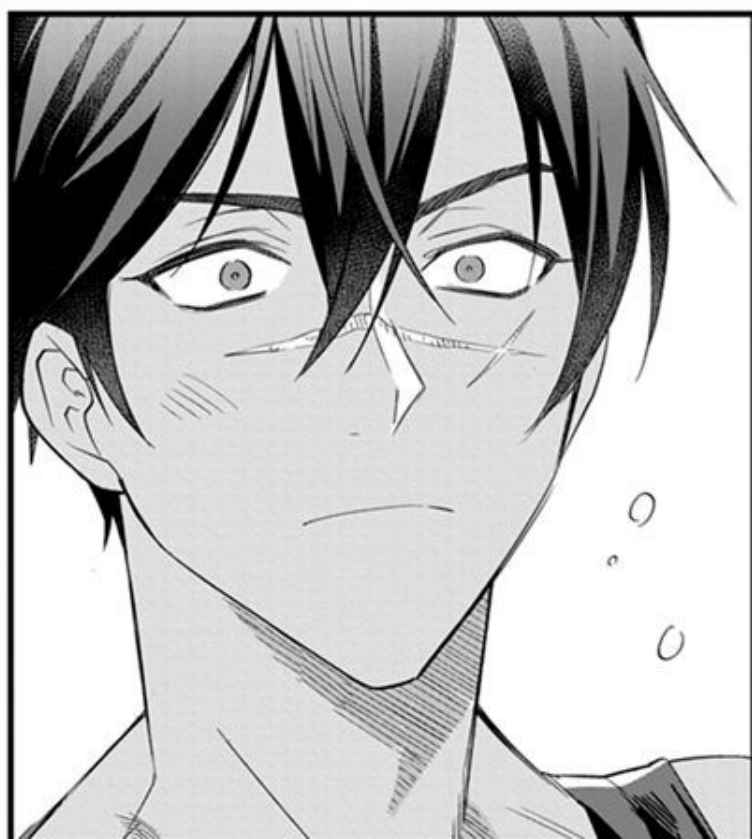
大体お前の
親父サンに
止められるだろ

商談も
成功した

そこは
大丈夫だよ

母さんとヴァネッサが
口添えしてくれて
しぶしぶ了承して
くれたんだ

ほお〜



バカか
結婚は
できねえだろ

そ…それは
言葉の綾で…

いいぜ

病める時も
すこやかなる時も

地獄の果てまでも
一緒にいてやるよ



これから
大変だぞ

好き…

アンフェルと
一緒なら
大丈夫だ…



ん？

ていうかよ



結婚で思い出したんだが

あの時はさあ、
はさあ、
さあ、

お前
前世自害した
って…

俺を倒した後
大国の姫と
結婚するんじゃないか？
なかつたのか？



あれは向こうが
勝手に決めてた
ことだよ

僕には
関係ない
話だ

それに

アンフェルの
いない世界なんて

僕はいらぬ



おめ
重
え
よ

END





後日談

僕たちがともに
再び暮らし
始めてから

アンフェルと
色んな所に行って

色んな事をして

前世
叶わなかった
未来を歩んでいる

それに
アパートから
僕のマンションに
引っ越してから

変わったことが
一つ

ただいま
アンフェル

飯は？

今日は
外で会食が
あって
食べたんだ

じゃあ
とつとつと
風呂入っちゃまえ

アンフェルが
夜積極的に
なったこと

明日はお互い
「休み」なんだろう？

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



アンフェルと
繋がれることが
僕は嬉しい

ア…
アンフェルツ!?
何して…



あのアンフェルが
僕の友達だぞ。



でもふと
彼が無理してる
んじゃないか
と思う時がある



たまには俺が
動いてやるよ





おい

何難しい顔して
考えてやがる

ウ!!!



ちがう!

僕は断然
ノリノリだ!

必死かよ



今日乗り気
じゃないなら

はあ

はあ

ここで止めるか?

ヒッ

ただ…
ずっと気に
なっていたことが
あって



アンフェル

僕とのセックス無理してない？



は…？



あ……

くそ……



なん…て
そうなる!?

だって前世
こういう雰囲気
なったとき
避けてたでしょ!?

どんだけ昔のこと
掘り返してんだ!



……その

なんだ…

さすがに
魔王と一線
超えちまったら

勇者として
笑い種だろうが



だから
お前の期待に
応えてやれ
なかったんだよ

これでいいか？

え…



それって
つまり…

僕のことを
思っ……

いい雰囲気になった時
避けられたのも
そういう悩みが
あったから……？

現世で魔王じゃ
なくなつたから
積極的になつたっ
ていうこと!?

ド
ッ

ド
ッ

……
ッ

キラキラ



君のすべてが
愛おしい！

END

〜あとがき〜

はじめまして! 円#ぴんと申します!!

この度は「勇者の愛が重すぎる」をお買い上げいただき
ありがとうございます!!

初のオリジナルBL漫画ということで、

担当さんと色々アドバイスをいただいたり、励ましていただ
いたりで、なんとかゴールに辿り着きました!

単行本作業では期限が迫っているのに、何話か全ページ

描き直し、そして単話バージョンよりページ数を増やすという

暴挙に出て、スケジュール調整等々本当にご苦労をおかけ
したと思います

おかげさまで納得のいく単行本になりました!

転生という前世バッドイベント、現世ハッピーイベントと

「1枚で2度おいしい」お題をいただき、楽しく描かせて
いただきました。

正義のヒーローが世界の鼻つまみ者の悪役を愛する

という展開が大大大好きで、

さらに勇者(金髪碧眼王子様キャラ)、魔王(褐色・筋肉

不憫キャラ)etc... 性癖をいろいろ詰めこみまくり、

自分の読みたかったものが描けたかなと思います!

前世の姿も際あらはに描いて(ま)くらいで、

また本体表紙を見られてな、方がいらっしやいましたら、

ぜひ表紙カバーをぬく、てみて下さいね!!

(1) #ぴん

A monochromatic red-toned illustration. On the left, a character's face is shown in profile, wearing a helmet with a visor. The character's hands are visible, holding two white feathers. The background consists of flowing, draped fabric. The text 'YUSHANO AIGA OMOSUGIRU' is centered in the middle-right area.

YUSHANO
AIGA
OMOSUGIRU



秒で分かるBL

勇者の愛が

重すぎる

円井ぴん

libre

～たまにフラッシュバックする記憶～

前世
ユーステス(幼少期)

お花あげる!

アンフェル
だいすき♡

ほんわ

現世
ユーステス

愛してるよ

アンフェル…

キラキラ

あのちんちくりんの
子供が大きくな
なっちまって…

いつの話!?

ガク

秒で分かるBL

〈初出〉

勇者の愛が重すぎる

1話 (秒で分かるBL 転生 vol.1 2022年1月配信)

2話 (秒で分かるBL 転生 vol.2 2022年1月配信)

3話 (秒で分かるBL 転生 vol.3 2022年2月配信)

4話 (秒で分かるBL 転生 vol.4 2022年3月配信)

5話 (秒で分かるBL 転生 vol.5 2022年4月配信)

6話 (秒で分かるBL 転生 vol.6 2022年5月配信)

後日談 描き下ろし

あとがき 描き下ろし

【電子限定かきおろし付】

勇者の愛が重すぎる

2022年10月1日 電子第1版発行

著者 円 井 ぴ ん

© Pin Marui 2022

発行者 太 田 歳 子

発行所 株式会社リブレ

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-46

ローベル神楽坂ビル

電話 営業 03(3235)7405

本書は紙版刊行物を電子書籍化したものであり、掲載されている情報は紙版出版時点のものです。[紙版発行：2022年10月1日]

※電子限定描き下ろしページを追加収録しました。

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは一切関係ありません。
本書の一部、あるいは全部を無断で複製複写（コピー、スキャン、デジタル化等）、転載、上演、放送することは法律で特に規定されている場合を除き、著作権者・出版社の権利の侵害となるため、禁止します。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内で利用する場合であっても一切認められておりません。